

JP58-182594U

(57) Claims

A headband of a cold protection earmuff, a headphone, or the like characterized in that two arc-shaped spring members each having a cylindrical portion provided at one end thereof are disposed such that one of the arc-shaped spring members is loosely inserted into the cylindrical portion of the other arc-shaped spring member, and the other end of a connection piece having a hinge mechanism attached to a receiver or an earmuff body and provided in one end of the connection piece is rotatably pivoted to the other end of each arc-shaped spring member.

① Int. Cl.<sup>3</sup>

H 04 R 1/10

A 41 D 21/00

識別記号

1 0 3

庁内整理番号

6507—5D

6849—3B

③ 公開 昭和58年(1983)12月5日

審査請求 有

(全 2 頁)

⑭ 防寒用耳あて・ヘッドホン等のヘッドバンド  
に

⑮ 実 願 昭57—78393

⑯ 出 願 昭57(1982)5月29日

⑰ 考 案 者 西沢正治

⑱ 出 願 人 西沢正治

東京都台東区浅草橋4丁目6番  
8号

⑲ 代 理 人 弁理士 佐々木功

# ⑳ 実用新案登録請求の範囲

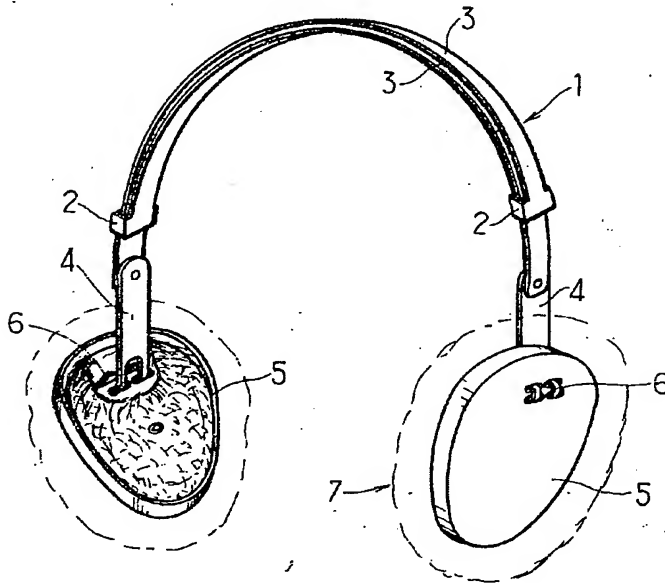
一方端に筒状部が形成された二枚の弧状ばね体をそれぞれの筒状部に互いの弧状ばね体を遊挿して配設すると共に、該弧状ばね体の他方端に耳あて本体あるいはレシーバーに取付けられる蝶番機構を一端に有する連結片の他端を回動自在に枢支したことを特徴とする防寒用耳あて・ヘッドホン等のヘッドバンド。

## 図面の簡単な説明

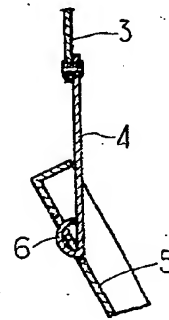
第1図は本考案の防寒用耳あて・ヘッドホン等の本体連結用に供するヘッドバンドの一実施例を示す斜視図、第2図は防寒用耳あてに応用したヘッドバンドを折り畳んだ状態を示す斜視図、第3図は耳あて本体とヘッドバンドとの連結状態を示す断面図である。

1:ヘッドバンド、2:筒状部、3:弧状ばね体、4:連結片。

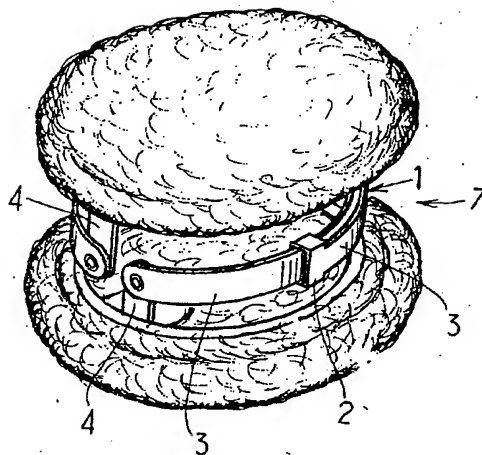
第1図



第3図



第 2 図



⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭58—182594

⑪ Int. Cl.<sup>3</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和58年(1983)12月5日

H 04 R 1/10

1 0 3

6507—5D

A 41 D 21/00

6849—3B

審査請求 有

(全 頁)

⑭ 防寒用耳あて・ヘッドホーン等のヘッドバンド

東京都台東区浅草橋4丁目6番8号

⑯ 出 願 人 西沢正治

⑰ 実 願 昭57—78393

東京都台東区浅草橋4丁目6番8号

⑱ 出 願 昭57(1982)5月29日

⑲ 考 案 者 西沢正治

⑳ 代 理 人 弁理士 佐々木功

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

防寒用耳あて・ヘッドホーン等のヘッドバンド

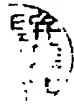
### 2. 実用新案登録請求の範囲

一方端に筒状部が形成された二枚の弧状ばね体をそれぞれの筒状部に互いの弧状ばね体を遊挿して配設すると共に、該弧状ばね体の他方端に耳あて本体あるいはレシーバーに取付けられる緩衝機構を一端に有する連結片の他端を回動自在に枢支したことを特徴とする防寒用耳あて・ヘッドホーン等のヘッドバンド。

### 3. 考案の詳細な説明

本考案は、防寒用耳あて・ヘッドホーン等の本体連結用に供するヘッドバンドの改良に関する。

従来のこの種防寒用耳あて・ヘッドホーン等の本体連結用に供するヘッドバンドは二枚の弧状ばね体の一方端に筒状部を形成し、この筒状部に互いの弧状ばね体を遊挿させて相互の弧状ばね体の重なる距離を可変させて長さ調節を行うようにしていた。




しかし、前記ヘッドバンドは唯単にヘッドバンドの長さ調節を行うだけであつたため収納、保管する際に嵩張ってしまい不便であつた。

本考案は上記の点に鑑みなされたもので、収納、保管時に嵩張ることのないように長さ調節と折り畳みとが行えるようにした防寒用耳あて・ヘッドホーン等のヘッドバンドを提供するものであつて、その要旨とするところは一方端に筒状部が形成された二枚の弧状ばね体をそれぞれの筒状部に互いの弧状ばね体を遊挿して配設すると共に、該弧状ばね体の他方端に防寒用耳あて本体あるいはレシーバーに取付けられる蝶番機構を一端に有する連結片の他端を回動自在に枢支したことを特徴とする防寒用耳あて・ヘッドホーン等のヘッドバンドにある。

以下、本考案を図面を参照して詳細に説明する。

第1図は本考案の防寒用耳あて・ヘッドホーン等の本体連結用に供するヘッドバンドの一実施例を示す斜視図、第2図は防寒用耳あてに應用したヘッドバンドを折り畳んだ状態を示す斜視図、第



3 図は耳あて本体とヘッドバンドとの連結状態を示す断面図で、第 1 図乃至第 3 図において、1 は防寒用耳あてあるいはヘッドホーン等の本体連結用に供するヘッドバンドにして、これは一方端に筒状部 2 が形成された二枚の弧状ばね体 3 のそれぞれに互いの筒状部 2 を遊挿し、かつそれぞれの弧状ばね体 3 の他方端に連結片 4 の一端を回動自在に枢支したもので、この連結片 4 の他端には左右の耳あて本体 5 あるいはヘッドホーン本体（図示せず）が緩着機構 6 によって緩着され、防寒用耳あて 7 あるいはヘッドホーンが構成されることになる。

しかして、本考案のヘッドバンド 1 は二枚の弧状ばね体 3 のそれぞれの筒状部 2 に互いの弧状ばね体 3 を遊挿すると共に、他方端を連結片 4 を介して耳あて本体 5 に緩着したものであるので、二枚の弧状ばね体 3 の重なり距離を可変させて長さ調節を行うことができると共に、防寒用耳あて 7 を収納、保管する場合には二枚の弧状ばね体 3 の他方端に対しそれぞれに連結片 4 をほぼ直角に回

動させて左右の耳あて本体 5 に対しそれぞれの弧状ばね体 3 を平行に配することにより、第 2 図に示すように太鼓状に耳あて本体 5 が弧状ばね体 3 を挟んで対設することになり、耳あて 7 を非常にコンパクトに折り畳むことができるものである。

以上述べたとおり本考案のヘッドバンドは一方端に筒状部が形成された二枚の弧状ばね体のそれぞれを互いの筒状部に遊挿すると共に、該弧状ばね体の他方端に回動自在に連結片の一端を枢支し、この連結片の他端には耳あてあるいはヘッドホーン等の本体が蝶番機構を介して蝶着されているので、二枚の弧状ばね体の重なる距離を可変することによりヘッドバンドの長さ調節を行うことができ、かつ耳あてあるいはヘッドホーン等の本体に対して平行に弧状ばね体を配することにより前記左右の本体を弧状ばね体を挟んで対設することができ、よってこのヘッドバンドによって連結された前記本体は非常にコンパクトに折り畳むことができ、収納、保管の際に嵩張ることもないものである。



#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の防寒用耳あて・ヘッドホーン等の本体連結用に供するヘッドバンドの一実施例を示す斜視図、第2図は防寒用耳あてに応用したヘッドバンドを折り畳んだ状態を示す斜視図、第3図は耳あて本体とヘッドバンドとの連結状態を示す断面図である。

1：ヘッドバンド    2：筒状部    3：弧状ばね体  
4：連結片。

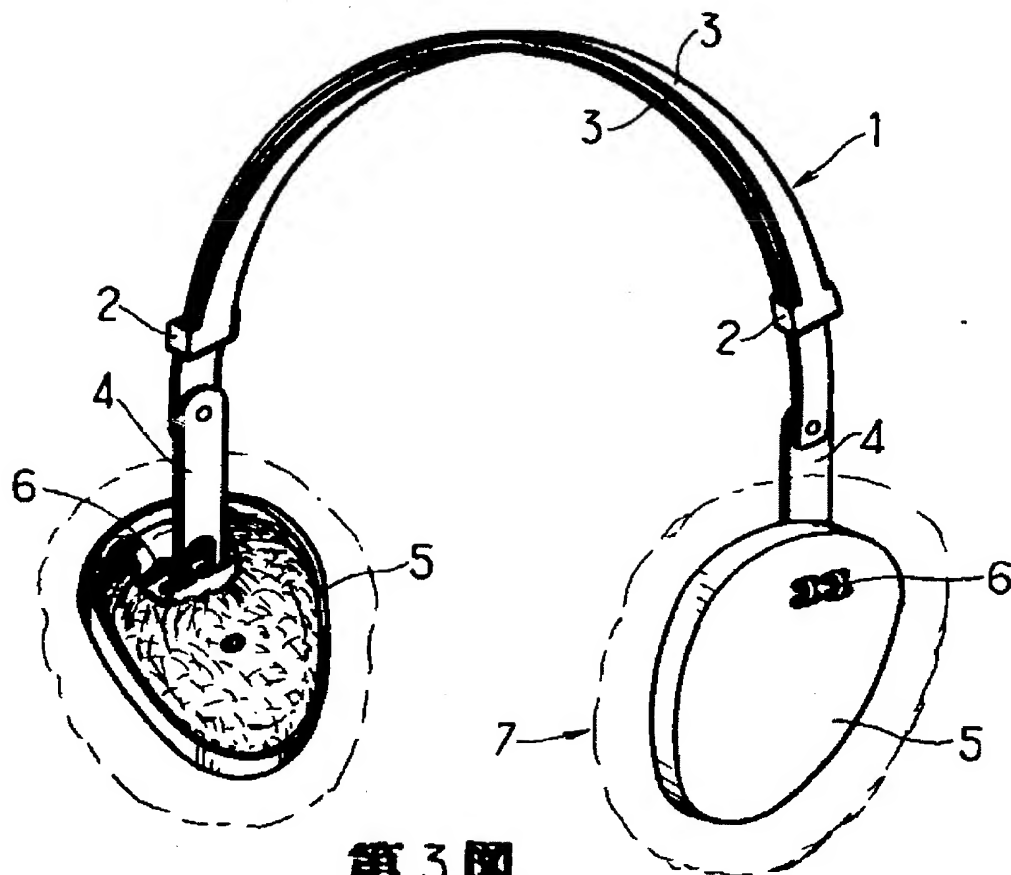
実用新案登録出願人    西   沢   正   治

代   理   人   弁 理 士   佐   々   木

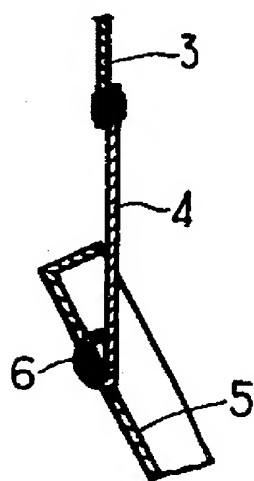
功



第 1 図

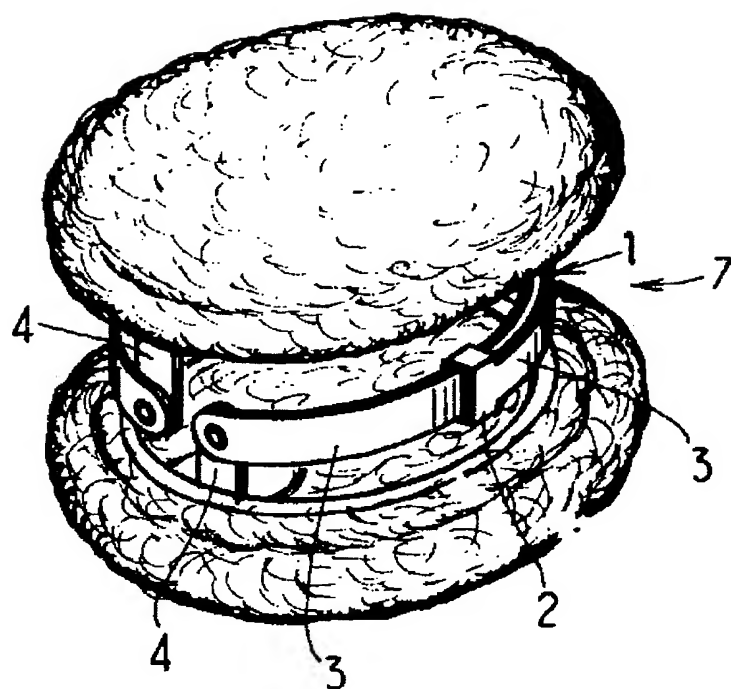


第 3 図



実 用 新 案 登 録 出 願 人 面 沢 正 治 182594

## 第2圖



實用新案登録出願人 西沢正治

代理人 弁理士 佐々木 功